
「次代を担う若者たちによるエネルギーワークショップ」参加学生と
一般学生への「エネルギー問題」に関するアンケート結果の比較

2014年4月23日

一般社団法人 日本原子力産業協会

「次代を担う若者たちによるエネルギーワークショップ」参加学生と一般学生への「エネルギー問題」に関するアンケート結果の比較

1. 対象および、募集期間

- ・アンケート募集期間：2014. 2. 10～2. 24
 - ・WS参加学生※：19名 回答【男性7名、女性12名】、【文系9名、理系10名】
 - ・一般学生：1,312名 回答【男性474名、女性838名】、【文系813名、理系499名】
- ※ワークショップ開始前に実施

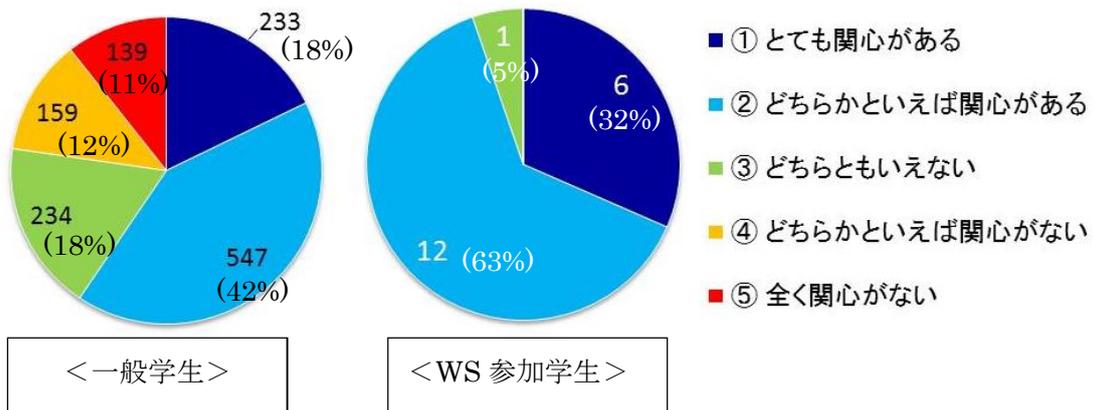
2. 考察

- ・ワークショップ参加学生は、一般の学生と比較して、エネルギー問題に関心が高く、再生可能エネルギーも使うが、原子力も使う考える学生が多かった。

3. アンケート結果（抜粋版）【パーセント表示は、四捨五入】

Q. エネルギー問題にどの程度関心がありますか？

(考察：一般学生は約6割が関心を示し、WS参加学生は9割を超える関心があった)



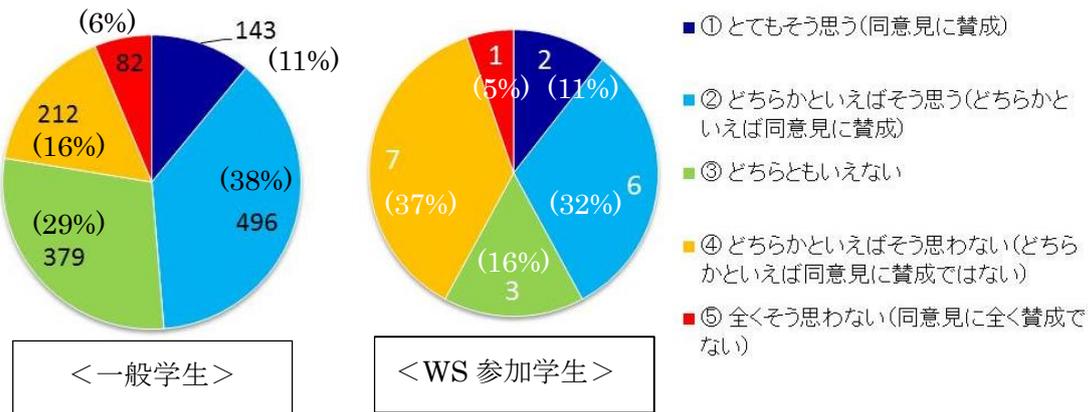
Q. 今から30年後、「太陽光」エネルギーを日本はどのくらい利用することが望ましいと思いますか？ (考察：一般学生、WS参加学生ともに、「太陽光」を使うとする層が多かった)



Q. 今から 30 年後、「原子力」エネルギーを日本はどのくらい利用することが望ましいと思いますか？（考察：一般学生は「原子力」を使わない層が多かったのに対し、WS 参加学生は使う層が多かった）



Q. 「今から 30 年後、日本のエネルギー源としては再生可能エネルギーを電力の主力にできる」と思いますか？（考察：一般学生、WS 参加学生ともに、「再生可能エネルギー」が 30 年後に電力の主力になると考える層が多かった）



Q. 「日本の電力に占める原子力発電のエネルギー比率は、30 年後を待たずに早急にゼロにすべきである」と思いますか？（考察：一般学生は賛否の意見が分かれたのに対し、WS 参加学生は原子力を早急にゼロにすべきでないとする層が多かった）

